

第二中学校、伯太中学校 再編地域協議会だより

vol.03

2025.01.20

NEWS LETTER

令和6年12月に第3回協議会が開催されました

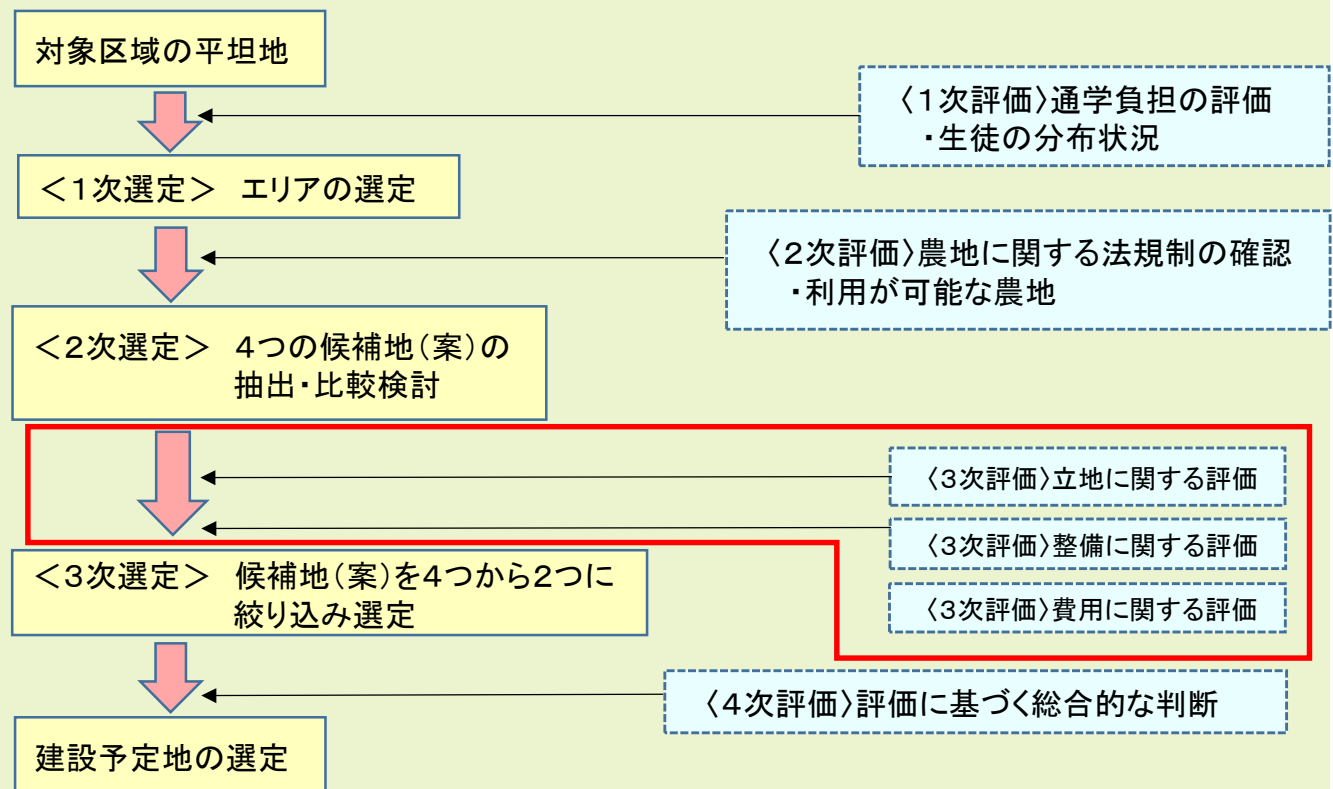


第3回第二中学校、伯太中学校再編地域協議会が、12月19日に開催されました。

協議会では、事務局から候補地選定に向けて立地・整備・費用に関する資料が示されました。その資料を基に、学校区ごとに話し合いを行い、候補地(案)を4つから2つに絞り込みました。

今後協議会では、総合評価に基づく建設予定地の選定を行います。

中学校の選定フロー



立地に関する評価項目(3次評価)

立地している場所の利便性や安全性や環境性等を評価しました。

利便性に関する評価		環境性に関する評価	
生徒数	移動負荷数	周辺施設	他の公共施設との近接性 (図書室などの文化施設)
	6km以内の生徒数		総合文化ホールとの距離
アクセス	幹線道路に接道		総合運動公園との近接性
安全性に関する評価		インフラ	給水設備
災害 リスク	浸水想定区域の有無		排水設備
	過去の水害箇所の有無	関係法令に関する評価	
	過去の地震による地盤被害の有無 (液状化現象・地盤沈下・崖崩れ等)	法規制	農業振興地域の整備に関する法律
交通安全	隣接道路の通学時間帯の交通量		農地法
安心	警察署・駐在所からの距離		文化財
	消防署・分署からの距離		
	救急告示病院からの距離		

整備に関する評価項目(3次評価)

評価をするにあたって、新設中学校に必要な面積を3.0ヘクタールと想定し、既存施設の敷地を活用できる場合は、合計して概ね3.0ヘクタールとなるように新たに取得する用地を設定しました。

用地確保	土地所有(市の土地所有率)
	用地取得単価
整備の容易性	取付道路の整備
	想定盛土高さ(アクセス道との平均高低差)

費用に関する評価項目(3次評価)

用地取得費は、直近の官公庁の買収単価を基に試算しました。校舎の延べ床面積については、普通教室(6学級)、特別支援教室(3学級)、多目的スペースを考慮し、約4,000㎡で試算しました。

用地取得及び造成費用	土地購入費、盛土購入費 造成・擁壁費用等の合計
校舎および体育館の建築費用	・建設費用は鉄筋コンクリートまたは鉄骨鉄筋コンクリート造を想定 ・1㎡あたりの平均建築単価を使用

3次評価結果

候補地	立地に関する評価	整備に関する評価	費用に関する評価	合 計
① 第二中学校 隣接地	・幹線道路に近接している ・過去の災害履歴なし	・取付道路の整備の必要性なし	37.9億 ～43.4億円	
	・農地法の制約が多い ・休憩・学習施設との距離が遠い			
評価点	75	21	15	111 (98.2)
② 南小学校 隣接地	・移動負荷が少ない ・自転車通学圏内の生徒数が多い	・取付道路の整備の必要性なし	43.6億 ～51.1億円	
	・農地法の制約が多い ・休憩・学習施設との距離が遠い			
評価点	83	21	9	113 (100.0)
③ 市役所 伯太庁舎 隣接地	・農地法の制約が少ない ・過去の水害履歴なし	・取付道路の整備の必要性なし	49.1億 ～56.8億円	
	・文化ホール、運動公園との距離が遠い			
評価点	57	18	9	84 (74.3)
④ 伯太中学校 母里小学校 隣接地	・休憩・学習施設との距離が近い	・アクセス道との平均高低差が少ない	38.8億 ～44.3億円	
	・農地法の制約が多い ・文化ホール、運動公園との距離が遠い	・取付道路の整備が必要		
評価点	38	30	15	83 (73.5)

※各候補地で上段が主な優位な点、下段が主な懸念される点。()内は最高点を100とした場合の指数

〈各評価結果をもとに協議を行い、候補地(案)が2つに絞られました〉

①第二中学校隣接地

②南小学校隣接地

今後、この2箇所について4次評価を行い、総合的に判断します。

〈4次評価〉評価に基づく総合的な判断

今後検討します

候補地	評価及び課題等	総合評価
①第二中学校隣接地	・立地に関する評価・整備に関する評価が比較的高い ・事業費が低く抑えられる ・敷地の形状が整っているため、配置計画に比較的自由度がある ・体育館は既存施設(南体育館及び二中体育館)を利用できる	
②南小学校隣接地	・立地に関する評価・整備に関する評価が高い ・事業費が比較的高い ・敷地が長方形となった場合、建物配置に制約がある ・建物配置によっては、南小の仮移転及び解体費用が発生する可能性がある ・校舎の建物配置によっては工期が伸びる可能性がある ・既存敷地に一部借地がある	

Q&A

体育館はどうするの？

→候補地により体育館の新設または既存建物の使用を検討します。既存建物を使用する場合は、適切に必要な改修を行い長寿命化をはかります。

距離が長い生徒の通学方法は？

→通学方法については今後、幅広く検討していきます。
スクールバス、イエローバスやそれ以外の方法等、関係部署と連携して検討していきます。

※ご意見等あれば、お近くの協議会委員にお寄せください。
該当委員は、「協議会だよりvol.01」でご確認ください。

詳しくは下記QRより
アクセスください



【問合せ先】

第二中学校・伯太中学校再編地域協議会事務局
(安来市教育委員会教育総務課)

TEL: 23-3140 FAX: 23-3167

E-mail: kyouiku@city.yasugi.shimane.jp